

大学等名：浜松学院大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

事業概要：地域課題をテーマにした長期フィールドスタディ・プログラム <DiCoResプラス>

本事業は、学外実践活動に根ざした学びの強化を目的に、1ヶ月間にわたって学外フィールドで学ぶプログラムである。本学で全学実施されている実践力向上カリキュラム「DiCoResプログラム^{*1}」での日常的・短期的な実践活動を補完・強化するために、日常生活圏から離れた場所において、チームで、連続した長期間にわたって活動することを意図する。8月および2月を「長期学外学修期間」とし、学生が自覚をもって学外活動に取り組むことができるよう支援する。

新規事業<DiCoResプラス>

連携協力：浜松市・浜松商工会議所 等

基礎プログラム【1年次8月】

発展プログラム【全学年8・2月】

①フィリピン・ダバオ市
フィールドスタディ
【子どもコミュニケーション学科】

②北遠フィールドスタディ【地域共創学科】

③東北被災地フィールドスタディ

④学生企画認定型プロジェクト



「責任ある対話と協同（本学のコミュニケーション定義）」にもとづく
確かな実践力育成カリキュラム（現行）

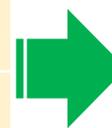
【取り組みの背景・問題点】

- 大学教育改革を通じて独自カリキュラム<DiCoResプログラム>は定着したが、その評価方法・指標が確立していない。
- 地元出身でかつ地元での就職を希望する学生が多いという本学の特徴が、大学教育の内容に十分反映されていない。

【学外（主に地域）への波及効果】

- 各フィールドで学生と住民等が交流し、長期的・継続的に活動に取り組むことで、地域に変化が起こり活性化する。
- 浜松市および近隣地域を深く理解し、かつ実践力を身につけた学生が多く輩出され、将来的に地域を担う人材となる。

【事業の成果】	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	0 % (未実施)	—	5.6 %	8.6 %
学生の授業外学修時間	3.5 時間	3.6 時間	4.5 時間	5 時間
学生が企画する活動数	3 件	5 件	40 件	80 件



【本事業の実施による大学改革の加速】

- めざす学生像とその評価指標の統一的理解の促進
- 全学的な教学マネジメントの浸透・強化

【本事業の実施による大学全体への影響】

- 「4年間地域から離れない」をテーマに据えた特徴的なカリキュラムの構築
- 地域の課題に積極的に応える大学教育への転換

^{*1} DiCoRes（ディコレス）プログラム：“Dialogue and Collaboration with Responsibility（責任ある対話と協同）”を意味する本学独自カリキュラム。